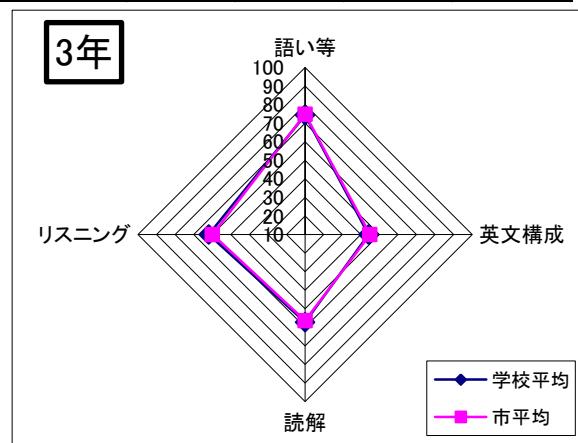
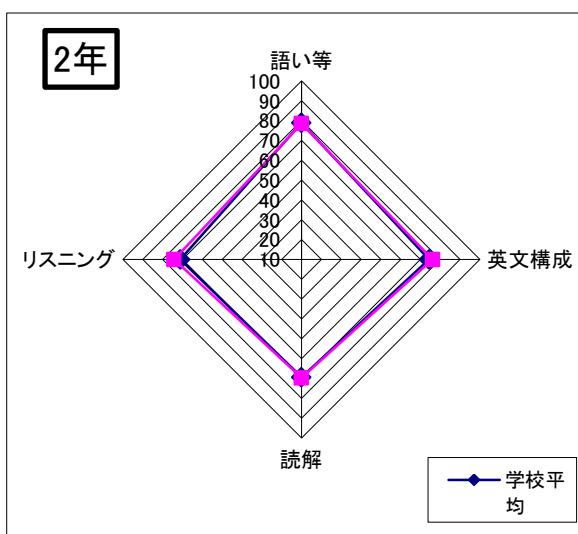


「英語能力判定テスト」結果(分野別正答率)の概要と今後の取組

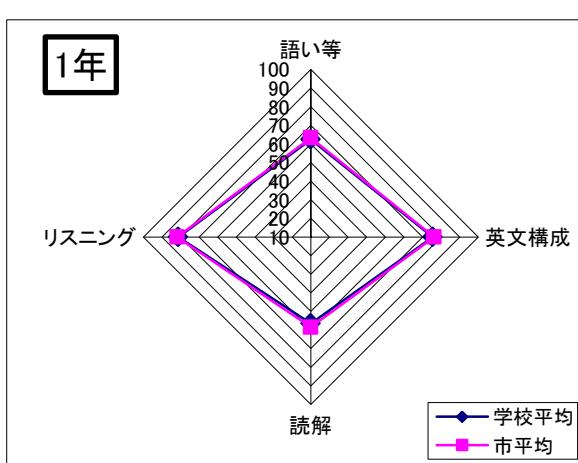
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	74.3	44.1	57.3	61.9
市平均	74.8	44.9	56.4	59.9



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	78.9	74.3	69.4	71
市平均	78.5	76.1	69.7	74.2



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	62.4	75.5	56.5	81.2
市平均	63.3	76.2	58.4	81.8



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

「語い等」「英文構成」の分野は市平均には至らなかったが、「読解」「リスニング」分野では市平均を上回った。語い、文法など基礎の定着を図る指導を充実させることが必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

「読解」に関しては、ワークシートを使った英文の読み取り練習が一定の効果をあげていると考えられるため、継続して取り組む。「英文構成」は、基本的な語順、文法事項の復習を行い、その定着につなげる。

2年 英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

「語い等」の分野は、市平均を上回る結果だった。「読解」の分野は、市平均には至らなかったが、市平均に近い正答率であった。「英文構成」「リスニング」については課題がある。

《結果をふまえた今後の取組》

基礎的・基本的な知識・技能の習得に力を入れて取り組む。語い力の向上、文法活用力の強化に重点を絞り、絵や写真等の視覚的な支援を十分に行い、英語の意味と音、文字とをつなげていく。

ドリル活動にも取り組みつつ、英語を使う中で文型に慣れるよう授業の中での英語の使用量を増やす。

1年 英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「語い等」「英文構成」「読解」「リスニング」の全ての分野で市平均をやや下回り、今後の指導、学習に課題を残した。

《結果をふまえた今後の取組》

「読解」の正答率が56%と低かったので長文を読む機会とその読み取る力をつけさせていきたい。スコア別別のグラフで分析すると301～340の人数が大阪市の分布と比べると少ないので上位の生徒たちのレベルを上げることが必要である。